

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・技術課

担当課長名：東川 直正

事業名	一般国道156号 <small>やまと</small> 大和改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局	
起終点	白：岐阜県郡上市大和町 <small>くじょう やまとちようつるぎ</small> 剣 至：岐阜県郡上市白鳥町 <small>くじょう しらとりちようなかつや</small> 中津屋			延長	2.6 km	
事業概要	<p>一般国道156号 <small>やまと</small> 大和改良は、岐阜県郡上市大和町 <small>くじょう やまとちようつるぎ</small> 剣から同市白鳥町 <small>しらとりちようなかつや</small> 中津屋に至る延長2.6kmのバイパスであり、現道の要対策箇所の回避や冬期の交通安全の確保を目的に計画された道路である。</p> <p>現道区間には、要対策箇所が2箇所あるほか、河川増水時の道路決壊の危険性、冬期において発生する線形不良区間の交通事故等の課題がある。</p> <p>本事業は、課題解決のために別線整備することで、要対策箇所を回避するもの。</p>					
H元年度事業化	—	H13年度用地着手	H20年度工事着手			
全体事業費	81億円	事業進捗率 (平成30年3月末時点)	約93%	供用済延長	1.6 km	
地域の防災面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当該区間には、防災上の課題である箇所として、道路災害に直接結びつく可能性の高い要対策箇所が2箇所存在し、過去には豪雨により道路決壊、土石流が発生するなど災害の発生しやすい地域である。 ・特に、要対策箇所（落石・崩壊）においては、新たな表層崩壊地があり、拡大・進行により、土砂や浮石が既設の落石防護柵を破り道路へ流出する恐れがあるなど、抜本的な対応が早急に必要である。 <p style="text-align: center;">（中部防災技術専門委員会（平成25年10月18日））</p>					
課題を踏まえた対策・事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対策内容は、現状の課題（防災上の課題、過去の災害、線形不良）を解決する対策検討の視点として、要対策箇所や線形不良区間での冬期交通の安全性向上及び経済性など総合的に検討しており、現在の計画案が技術的に適切な対策案であると判断出来る。 ・事業の対策内容のコストについて、土工区間、橋梁等について、現時点での調査結果（地質調査等）及び類似事業対策から決定しており、適正コストが計上されているため妥当だと判断出来る。 <p style="text-align: center;">（中部防災技術専門委員会（平成25年10月18日））</p>					
事業の効果等	<p>① 走行時間の短縮等 (126億円(残事業=117億円))</p> <p>② 災害による被災の回避等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療活動への影響の回避 ・冬期の広域交通への影響の解消 			費用	(残事業)/(事業全体)	
			11 / 118 億円			
			事業費：6.8/107億円			
			維持管理費：4.6/10億円			
関係する地方公共団体等の意見						
岐阜県知事の意見：						
<ul style="list-style-type: none"> ・対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。 ・なお、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いします。 						
事業評価監視委員会の意見						
<ul style="list-style-type: none"> ・「事業継続」することは「妥当」である。 						

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
<ul style="list-style-type: none"> 平成9年11月に東海北陸自動車道が白鳥ICまで開通（平成20年度全線開通）。 平成16年3月に沿線の大和町や白鳥町、八幡町などが合併し「郡上市」が誕生。 	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗率は約93%、用地進捗率は100%。（平成30年3月末時点） 	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
<ul style="list-style-type: none"> 郡上市大和町剣から郡上市大和町万場（延長1.6km）は、平成27年11月25日に開通。 残る、郡上市大和町万場から郡上市白鳥町中津屋（延長1.0km）は、2020年度開通に向けて工事を推進していく。 	
施設の構造や工法の変更等	
<ul style="list-style-type: none"> 今後、技術の進展に伴う新工法の採用等によるコスト縮減に努めながら事業を推進していく。 	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性は変化なく、防災面の効果が見込まれるため。
事業概要図	<p>The map illustrates the project area in Gifu Prefecture. It shows the extension of National Route 156 from Daikawa (岐阜県郡上市大和町剣) to Nakatsukaya (岐阜県郡上市白鳥町中津屋). Key features include: <ul style="list-style-type: none"> 河川増水による道路決壊 (H11.9): A road closure due to river flooding in November 2019, marked with a blue star. 土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地): A landslide-prone area (Special Warning Area for Landslides) shown in green. 一般国道156号大和改良 延長2.6km: The project's extension of National Route 156, shown in red. 高規格幹線道路 E41: The high-standard trunk road (E41) shown in blue. 主要地方道: Major local roads shown in green. 要対策箇所 (落石・崩壊): Points requiring countermeasures (falling rocks/collapse) marked with red circles. 過去の大规模災害: Past large-scale disasters marked with black squares. </p>

※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。